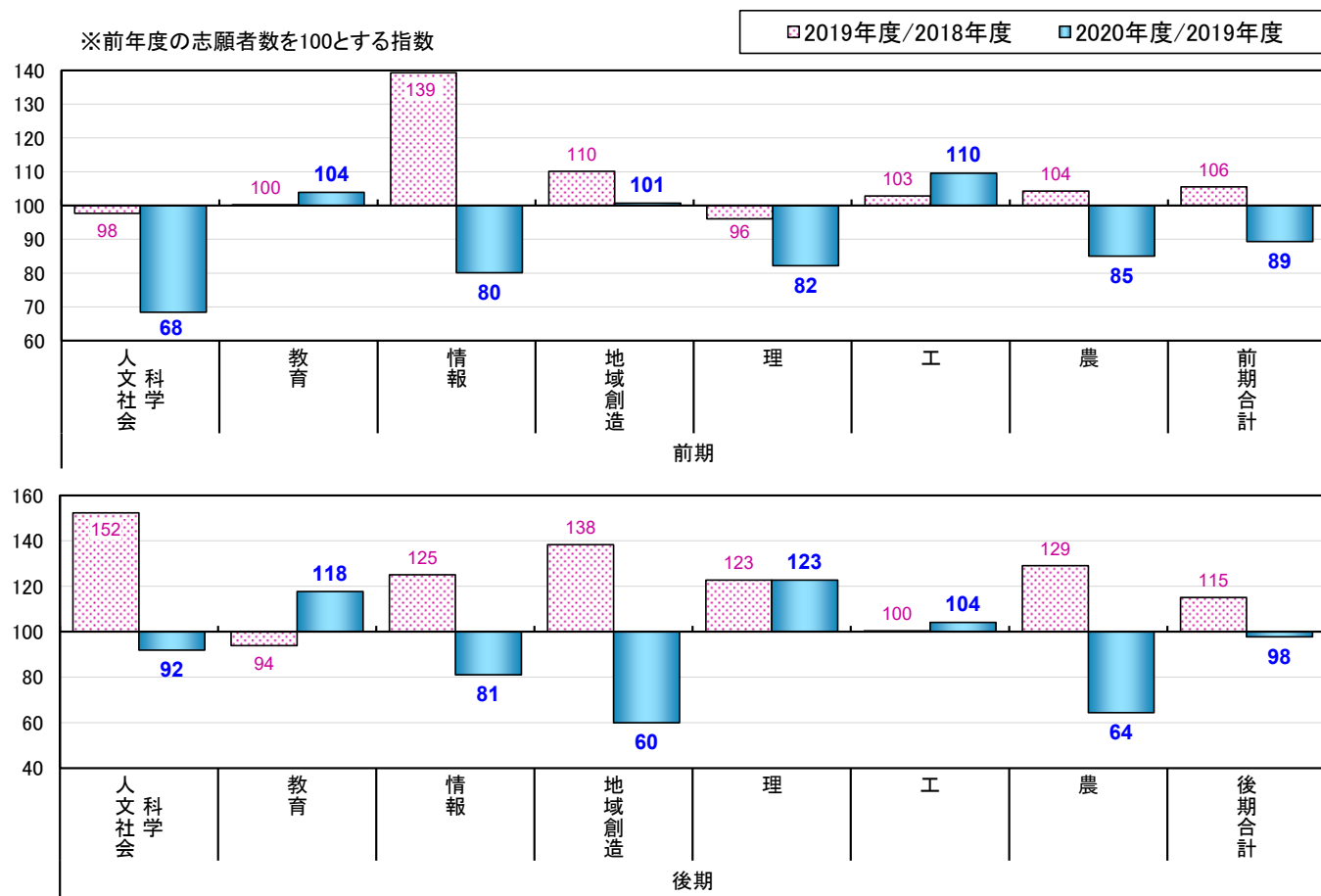


2020年度入試状況分析【国公立大】

静岡大：前期は反動で減少、後期は反動は小さく微減に留まる 前期：-339人 後期：-84人



入試変更点	センター試験：工<前><後>…国<100>+歴公<50>+数2<100>+理2<100>+外<150>=総点<500> →国<150>+歴公<100>+数2<150>+理2<150>+外<150>=総点<700> 個別試験：情報(情報社会)<前>…国+外→外+論 工(機械工、電気電子工、電子物質科学、化学バイオ工)<前><後>…数+理→数+理+外 (数理システム工)<前>…数+理(物 or 化 or 生から1)→数+理(物 or 化から1)+外 <後>…数+理→数+理+外
--------------	---

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度増加の反動で339人(89)減少し、減少した4学部はいずれも大幅減少。後期は84人(98)の微減に留まり、前年度大幅増加の反動は小さかった。学部・学環別では、地域創造学環、農、情報の3学部が前年度の反動で大幅減少。

<前期日程>

- 人文社会科学(68)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、減少した(経済)(54)、(社会)(59)、(言語文化)(62)はいずれも大幅減少。一方で、(法)(105)は前年度減少の反動でやや増加。
- 教育(104)は、やや増加。専攻・専修別では増加した7つの専攻・専修は全て25%以上の大幅増加で、特に(学校教育/発達教育-教育実践)(410)は4倍以上の激増。一方で、減少した8つの専攻・専修は(学校教育/発達教育-幼児教育)(91)を除いた5つの専攻・専修が大幅減少で、特に(学校教育/教科教育-技術)(39)は60%以上の激減。
- 情報(80)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。3学科全てが減少で、特に(情報科学)(67)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(行動情報)(91)は減少だが、理系型の(行動情報/選抜区分A)(67)が大幅減少、文系型の(行動情報/選抜区分B)(138)が大幅増加と対照的。
- 地域創造学環(101)は、微増だが2年連続増加。コース別では、(アート系)(126)が大幅増加。
- 理(82)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(物理)(114)のみ増加で、他の4学科はいずれも大幅減少。
- 工(110)は、個別試験での科目負担増加の影響はなく、2年連続増加。学科別では、(電子物質科学)(198)はほぼ倍増、(化学バイオ工)(156)は大幅増加。一方で、(数理システム工)(70)、(機械工)(84)が大幅減少。
- 農(85)は、系統への低い人気と前年度やや増加の反動で大幅減少。学科別では、(生物資源科学)(104)がやや増加で2年連続増加だが、一方で、(応用生命科学)(63)は大幅減少で2年連続減少。

2020 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>

- 人文社会科学(92)は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では(言語文化)(53)はほぼ半減、(社会)(76)は大幅減少。一方で、(法)(138)は大幅増加。
- 教育(118)は、2年連続減少の反動で大幅増加。専攻・専修別では増加した6つの専攻・専修は全て20%以上の大幅増加で、特に(学校教育/教科教育-数学)(339)は約3.4倍増、(学校教育/教科教育-家庭)(222)は倍増以上。一方で、(学校教育/教科教育-国語)(48)、(学校教育/教科教育-理科)(54)はいずれもほぼ半減。
- 情報(81)は、大幅減少で、2013年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、3学科全てが減少で、特に(情報社会)(63)が前年度激増の反動で大幅減少。
- 地域創造学環(60)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理(123)は、2年連続大幅増加。学科・コース別では、(創造理学)(445)が2年連続大幅減少の反動で、約4.5倍増。一方で、減少した(数学)(67)、(地球科学)(68)、(生物科学)(84)はいずれも大幅減少。
- 工(104)は、個別試験での科目負担増加の影響はなく、やや増加だが3年連続増加。学科別では、(電子物質科学)(160)、(電気電子工)(152)が大幅増加、一方で、(数理システム工)(64)、(化学バイオ工)(75)は大幅減少。
- 農(64)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では2学科がいずれも大幅減少。